

平成 30 年度

安全第一

—— 平成 29 年度事故発生状況報告書 ——

公益社団法人 香川県シルバー人材センター連合会

はじめに

わが国の急速な高齢化の中で、シルバー人材センターは「自主・自立、共働・共助」の基本理念の下、高齢者の方々に就業の場を提供することにより「働きがい」「生きがい」を与え、地域社会活性化のための中核事業としてますます重要になっています。

しかし、多くの会員が就業することに伴って、毎年、数多くの事故が発生しています。会員が安全・安心に就業できる環境を整備するとともに、会員一人ひとりが、安全就業について自覚と責任をもち、安全就業に努めることが肝要です。

このため平成 30 年 7 月に第 12 回目の安全就業推進大会を開き県内のシルバー人材センターからの事故^{ゼロ}を目指すため

“お互いに 声かけ合って 安全就業”

(第 12 回安全就業推進大会 安全就業標語最優秀作品)

をスローガンに、「毎月 10 日」を安全の日と定め、作業前の一声運動や保安帽・安全帯の着用運動などを展開してまいります。

この冊子は、安全就業推進の一助として、平成 29 年度の傷害事故等の実態や特徴などを取りまとめたもので、会員一人ひとりが、安全就業についての取組み方法などについて振り返っていただくとともに、「自分の安全は、自分で守る」という意識を持ち、安全就業に一層努められることを願って作成したものです。

安全就業に役立てていただければ幸いと存じます。

平成 30 年 8 月

公益社団法人香川県シルバー人材センター連合会

会 長 鶴 川 舜 一

目次

1. 傷害事故発生状況の概要	
(1) 事故発生状況	1
(2) 職群別事故発生状況	1
(3) 型別事故発生状況	2
(4) 部位別事故発生状況	2
(5) 四半期別事故発生状況	3
2. 損害賠償事故発生状況の概要	3
3. 平成 29 年度傷害事故発生状況	
(1) 年齢別・性別状況	4
(2) 職群別状況	4
(3) 型別状況	5
(4) 部位別状況	5
(5) 症状別状況	6
(6) 月別状況	7
(7) センター別状況	8
4. 平成 29 年度損害賠償事故発生状況	
(1) 仕事の内容	9
(2) 事故の型	9
(3) 月別状況	9
5. 平成 29 年度事故事例	
(1) 傷害事故事例（就業中）	10
傷害事故事例（途 上）	12
(2) 損害賠償事故事例	13
6. シルバー派遣事業事故事例	
(1) 傷害事故事例	15
(2) 損害賠償事故事例	15
7. センター別シルバー保険契約状況	16
8. 「シルバー安全の日」実施要綱	17
9. 安全就業表彰規程	18
10. 安全就業の心得	19
11. 平成 29 年度安全就業の取組み	20
12. 安全に関するビデオ・DVD	22

—利用上の注意—

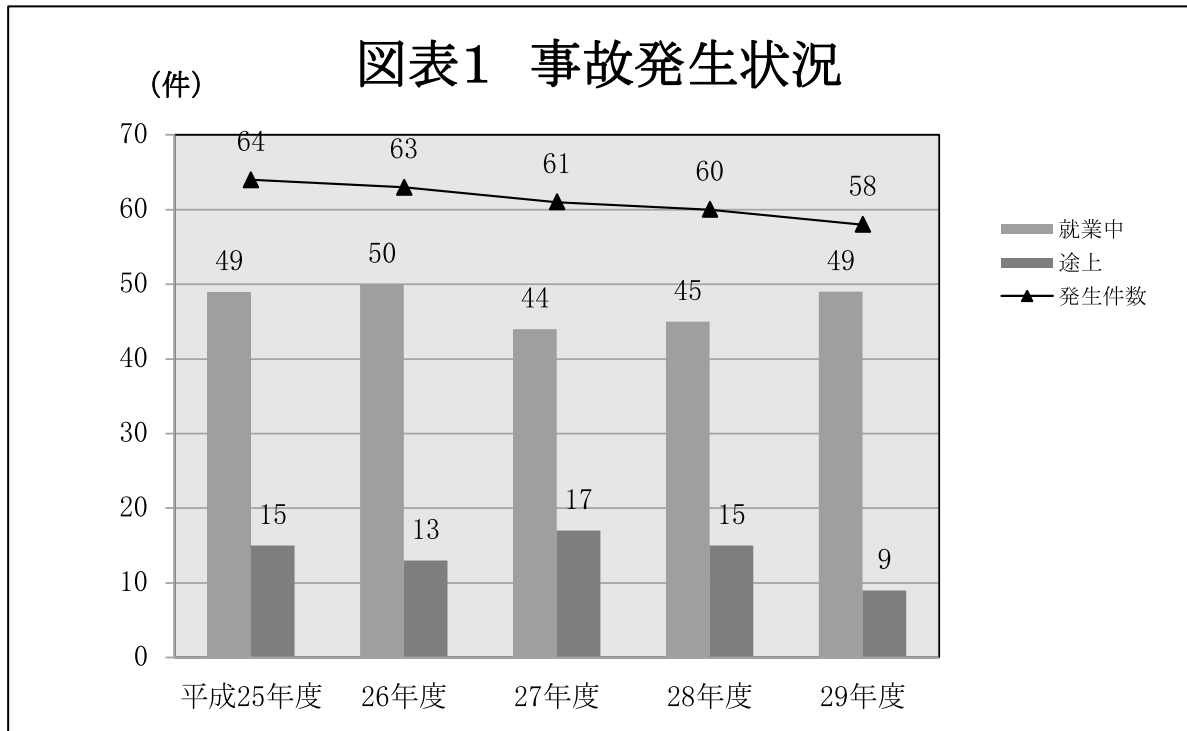
文中のパーセント(%)は、小数点第2位を四捨五入したものを
用いたので合計は100%にならない場合がある。

1. 傷害事故発生状況の概要

(1) 事故発生状況

事故件数は 26 年度以降僅かではあるが年々減少し 29 年度は 58 件となった。

事故を就業中・途上別にみると 28 年度に比べ「就業中」が 4 件増加し、「途上」が 6 件減少した。



(2) 職群別事故発生状況

職業分類が新分類（厚生労働省職業分類）となり従来の「一般作業群」に含まれていた、清掃、除草・草刈りが「運搬・清掃・包装等の職業」に、「管理群」に含まれていた建物管理が「サービスの職業」に、「技能群」に含まれていた植木の剪定が「農林漁業の職業」に含まれるようになった。

職群別の事故発生状況をみると、29 年度は「運搬・清掃・包装等の職業」が最も多く全体の 5 割余りを占めている。次いで「農林漁業の職業」となっている。この 2 つで全体の 8 割を占めている。

図表 2 職群別事故発生状況

項目	技能群		管理群		一般作業群		サービス群		その他		計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
平成 25 年度	13	20.3	4	6.3	40	62.5	3	4.7	4	6.3	64	100.0
平成 26 年度	14	22.2	2	3.2	45	71.4	1	1.6	1	1.6	63	100.0
平成 27 年度	18	29.5	6	9.8	32	52.5	4	6.6	1	1.6	61	100.0

項目	事務的職業		販売の職業		サービスの職業		農林漁業の職業		生産工程の職業		建設・採掘の職業		運搬・清掃・包装等の職業		計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
平成 28 年度	1	1.7	1	1.7	6	10.0	13	21.6	1	1.7	0	0	38	63.3	60	100
平成 29 年度	0	0	1	1.7	6	10.3	19	32.8	3	5.2	1	1.7	28	48.3	58	100

(3) 型別事故発生状況

事故を型別にみると、「墜落・転落」による事故が最も多く全体の 3 件に 1 件の割合で発生している。次いで「転倒」「交通事故」による事故が多い。

「転倒」については屋内、屋外作業にかかわらずあらゆる作業中に発生しているが、「墜落・転落」については、特に植木・造園工事等の剪定作業中に多く発生している。

図表 3 型別事故発生状況

項目	墜落・転落		転倒		切れ・こすれ		交通事故		蜂・犬等		飛来・落下		その他		計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
平成 25 年度	16	25.0	13	20.3	6	9.4	7	10.9	6	9.4	3	4.7	13	20.3	64	100.0
平成 26 年度	15	23.8	16	25.4	4	6.3	7	11.1	6	9.5	3	4.8	12	19.0	63	100.0
平成 27 年度	14	23.0	17	27.9	4	6.6	9	14.8	1	1.6	3	4.9	13	21.3	61	100.0
平成 28 年度	10	16.7	19	31.7	5	8.3	10	16.7	3	5.0	3	5.0	10	16.7	60	100.0
平成 29 年度	17	29.3	13	22.4	6	10.3	8	13.8	5	8.6	1	1.7	8	13.8	58	100.0

(4) 部位別事故発生状況

事故を部位別にみると、「手首・手指」の部位が増加しており、前年度に比べ 2.8 倍の増加である。次いで「頭部・顔」、「胸部・背中」の順となっている。

また、「手首・手指」の部位の事故の多くは、「切れ、こすれ」などによるものである。

図表 4 部位別事故発生状況

項目	頭部・顔		胸部・背中		腰部・臀部		腕部		手首・手指		脚部		足首・足指		その他		計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
平成 25 年度	10	15.6	2	3.1	4	6.3	4	6.3	13	20.3	14	21.9	5	7.8	12	18.8	64	100.0
平成 26 年度	4	6.3	6	9.5	9	14.3	3	4.8	10	15.9	13	20.6	9	14.3	9	14.3	63	100.0
平成 27 年度	8	13.1	7	11.5	4	6.6	2	3.3	11	18.0	10	16.4	8	13.1	11	18.0	61	100.0
平成 28 年度	4	6.7	6	10.0	7	11.7	3	5.0	5	8.3	16	26.7	9	15.0	10	16.7	60	100.0
平成 29 年度	6	10.3	8	13.8	7	12.1	3	5.2	14	24.1	11	19.0	5	8.6	4	6.9	58	100.0

(5) 四半期別事故発生状況

年間を通じて四半期とも、ほぼ同じ比率で発生しているが、植木等の剪定作業の繁忙期である「10～12月」は全体の3割近くの事故が発生している。28年度に増加していた「7～9月」の事故件数は減少したが、「1～3月」の事故件数は増加した。

図表5 四半期別事故発生状況

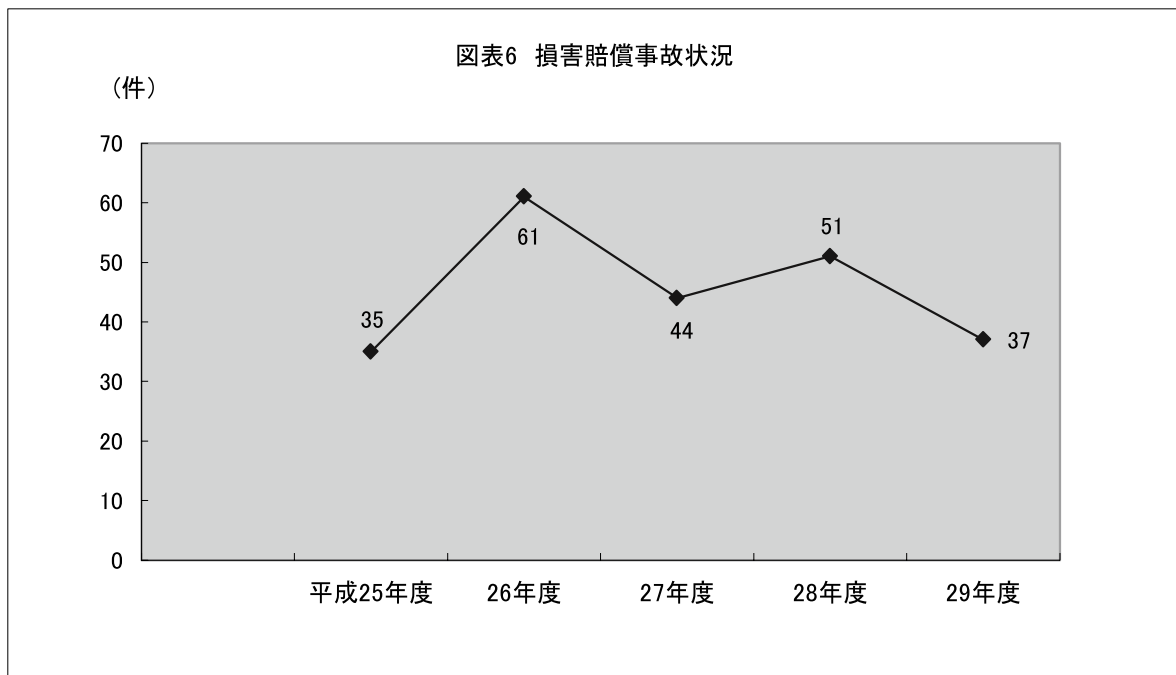
項目	4～6月		7～9月		10～12月		1～3月		計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
平成25年度	13	20.3	26	40.6	19	29.7	6	9.4	64	100.0
平成26年度	11	17.5	20	31.7	26	41.3	6	9.5	63	100.0
平成27年度	13	21.3	18	29.5	14	23.0	16	26.2	61	100.0
平成28年度	13	21.7	22	36.7	17	28.3	8	13.3	60	100.0
平成29年度	14	24.1	13	22.4	16	27.6	15	25.9	58	100.0

2. 損害賠償事故発生状況の概要

26年度に61件まで増加していた事故件数が、29年度は37件に減少した。

事故を仕事の内容でみると、除草・草刈り31件、植木・造園工事3件でこの2つで全体の9割を占めている。

また、事故の型別では「飛散させた物で損壊」が26件で、全体の事故件数の7割を占めている。



3. 平成 29 年度傷害事故発生状況

(1) 年齢別・性別状況

事故を年齢別にみると、「70～74 歳」が 23 件（39.7%）と最も多く、次いで「75～79 歳」が 12 件（20.7%）、「65～69 歳」が 10 件（17.2%）の順になっている。

事故を性別でみると、男性が 42 件（72.4%）、女性が 16 件（27.6%）となっている。

図表 7 年齢別・性別事故発生状況

項 目	男 性		女 性		計	
	実数(人)	%	実数(人)	%	実数(人)	%
60～64 歳	7	16.7	1	6.3	8	13.8
65～69 歳	10	23.8			10	17.2
70～74 歳	14	33.3	9	56.3	23	39.7
75～79 歳	6	14.3	6	37.5	12	20.7
80 歳以上	5	11.9			5	8.6
計	42	100.0	16	100.0	58	100.0

(2) 職群別状況

事故を職群別にみると、「運搬・清掃・包装等の職業」と「農林漁業の職業」が共に 19 件（38.8%）で、次いで「サービス業の職業」の 6 件（12.5%）となっている。これらの中でも、「除草作業」「植木・造園工事」の事故が多い。

事故を就業中・途上別にみると、「就業中」は 49 件（84.5%）で、「途上」は 9 件（15.5%）となっている。

図表 8 職群別事故発生状況

項 目	事 故 者 数					
	就 業 中	%	途 上	%	計	%
販 売 の 職 業	1	2.0			1	1.7
サ ー ビ ス の 職 業	6	12.2			6	10.3
農 林 漁 業 の 職 業	19	38.8			19	32.8
生 産 工 程 の 職 業	3	6.1			3	5.2
建 設 ・ 採 掘 の 職 業	1	2.0			1	1.7
運搬・清掃・包装等の職業	19	38.8	9	100.0	28	48.3
計	49	100.0	9	100.0	58	100.0

(3) 型別状況

事故を型別にみると、「墜落・転落」が17件(29.3%)と最も多く、次いで「転倒」が13件(22.4%)、「交通事故」が8件(13.8%)の順になっている。

事故を程度別にみると、29年度は「死亡」はなく、「後遺」5件、「入院」が19件、「通院」が34件となっている。

図表9 型別事故発生状況

項目	実事故者数							
	就業・途上別		事故の程度別				計	%
	就業中	途上	死亡	後遺	入院	通院		
墜落・転落	17			4	7	6	17	29.3
転倒	12	1			8	5	13	22.4
激突	2					2	2	3.4
飛来・落下	1					1	1	1.7
はさまれ・巻込まれ	4				1	3	4	6.9
切れ・こすれ	6				1	5	6	10.3
高温・低温の物との接触	1					1	1	1.7
交通事故	1	7		1	1	6	8	13.8
蜂、犬、蛇等に刺され、噛まれ	4	1			1	4	5	8.6
その他	1					1	1	1.7
計	49	9		5	19	34	58	100.0

(4) 部位別状況

事故を部位別にみると、「手首・手指」が14件(24.1%)と最も多く、次いで「脚部」が11件(19.0%)、「胸部・背中」が8件(13.8%)、「腰部・臀部」が7件(12.1%)の順になっている。

事故を程度別にみると、「入院」は「脚部」が5件、「通院」は「手首・手指」が11件となっている。

図表 10 部位別事故発生状況

項 目	実 事 故 者 数							計	%
	就業・途上別		事 故 の 程 度 別						
	就業中	途上	死亡	後遺	入院	通院			
頭 部 ・ 顔	6				1	5	6	10.3	
目 ・ 眼 球	1					1	1	1.7	
首 ・ 頸 椎		1				1	1	1.7	
胸 部 ・ 背 中	8			2	3	3	8	13.8	
腰 部 ・ 臀 部	6	1		2	4	1	7	12.1	
腕 部	3				2	1	3	5.2	
手 首 ・ 手 指	11	3			3	11	14	24.1	
脚 部	7	4			5	6	11	19.0	
足 首 ・ 足 指	5			1	1	3	5	8.6	
半身(上下左右)	2					2	2	3.4	
計	49	9		5	19	34	58	100.0	

(5) 症状別状況

事故を症状別にみると「骨折・ひび」が 27 件（46.6%）と最も多く、次いで「裂傷・咬傷」10 件（17.2%）、「打撲」8 件（13.8%）の順になっている。

事故を程度別にみると、「転倒」「墜落、転落」して「骨折・ひび」になると、「入院」になる場合が多く、また、「打撲」になると「通院」になる場合が多い。

図表 11 症状別事故状況

項 目	実 事 故 者 数							計	%
	就業・途上別		事 故 の 程 度 別						
	就業中	途上	死亡	後遺	入院	通院			
骨 折 ・ ひ び	24	3		5	12	10	27	46.6	
打 撲	5	3			3	5	8	13.8	
捻 挫	1					1	1	1.7	
裂 傷 ・ 咬 傷	10				2	8	10	17.2	
切 傷 ・ 擦 傷	3	1				4	4	6.9	
皮 膚 の 炎 症	4	1				5	5	8.6	
肉 離 れ ・ 腱	1				1		1	1.7	
関 節 ・ 筋 肉 の 炎 症		1				1	1	1.7	
毒 物 中 毒 ・ 感 染 症	1				1		1	1.7	
計	49	9		5	19	34	58	100.0	

(6) 月別状況

事故を月別にみると、「1月」が7件（12.1%）と最も多く、次いで「4月」、「10月」、「11月」、「3月」が各6件（10.3%）となっている。

事故の程度を月別にみると「入院」は「1月」4件、「通院」は「8月」、「9月」、「10月」が各5件となっている。

年間を通して、植木等の剪定作業中や草刈り作業中に事故が多く発生している。

図表 12 月別事故発生状況

項目	実 事 故 者 数							
	就業・途上別		事 故 の 程 度 別				計	%
	就業中	途上	死亡	後遺	入院	通院		
4月	5	1			2	4	6	10.3
5月	2	1			2	1	3	5.2
6月	5				3	2	5	8.6
7月	2	1		1	1	1	3	5.2
8月	4	1				5	5	8.6
9月	4	1				5	5	8.6
10月	6				1	5	6	10.3
11月	5	1			3	3	6	10.3
12月	2	2		1		3	4	6.9
1月	7			1	4	2	7	12.1
2月	2				2		2	3.4
3月	5	1		2	1	3	6	10.3
計	49	9		5	19	34	58	100.0



(7) センター別状況

事故をセンター別にみると、28年度に比べ6センターで事故件数が減少する一方、6センターで増加している。

就業延人員に対する事故発生率（千人日当たり）をみると、6センターで減少する一方、9センターで増加し、28年度の7.8%に比べ0.6ポイント増の8.4%となっている。

全国の事故発生率と比較するため、県下の派遣事業の派遣就業元である連合会の就業延人員を含めた場合、事故発生率は、28年度と同じ7.1%となっています。しかし、29年度の全国平均値6.6%と比べて、まだ0.5ポイントほど多く、強度率はほぼ同じであるが、度数率は全国平均より高くなっており、さらに、事故撲滅を目標とした安全就業に努める必要があります。

図表 13 センター別事故発生状況

項目	就業・途上別					就業延人員千人日当たり事故発生率(%)				度数率(%)	強度率(%)
	就業中	途上	計	前年比	28年度	就業延人員	発生率	前年比	28年度		
高松市	9	2	11	-8	19	159,744	6.9	-4.8	11.7	13.77	0.19
丸亀市	9	1	10	5	5	97,935	10.2	5.2	5.0	20.42	1.24
坂出市	3	1	4	0	4	35,687	11.2	0.7	10.5	22.42	0.15
仲善広域	8	0	8	1	7	96,089	8.3	1.5	6.8	16.65	0.08
観音寺市	0	1	1	-3	4	36,391	2.7	-6.0	8.7	5.50	0.00
さぬき市	3	0	3	0	3	57,456	5.2	0.3	4.9	10.44	0.23
東かがわ市	1	0	1	-1	2	36,765	2.7	-2.2	4.9	5.44	0.03
三豊市	7	4	11	4	7	60,209	18.3	7.1	11.2	36.54	4.63
三木町	4	0	4	-2	6	18,524	21.6	-10.3	31.9	43.19	0.37
宇多津町	1	0	1	1	0	22,695	4.4	4.4	0.0	8.81	0.09
綾川町	0	0	0	-1	1	10,717	0.0	-9.0	9.0	0.00	0.00
多度津町	1	0	1	0	1	39,069	2.6	0.1	2.5	5.12	0.02
土庄町	2	0	2	2	0	8,455	23.7	23.7	0.0	47.31	0.02
小豆島町	1	0	1	1	0	13,069	0.0	0.0	0.0	15.30	0.09
直島町	0	0	0	-1	1	1,590	0.0	-47.0	47.0	0.00	0.00
合計	49	9	58	-2	60	694,395	8.4	0.6	7.8	16.71	0.68
香川県						815,706 うち派遣 121,311	7.1	0.0	7.1	14.2	0.6
全国	3,801	863	4,664	202	4,462	70,447,859 うち派遣 5,873,734	6.6	1.4	5.2	13.2	0.7

※ センター別就業延人員は、請負・委任の就業者数を掲載している。

但し、全国比較のため、統計年報(全シ協作成)の度数率、強度率の算定は、シルバー派遣の実績値を含めているため、香川県と全国の欄は、派遣就業延人員を含んでいる。

※ 事故発生率(%)は、事故件数÷就業延人員×1,000×100で算定する。

※ 度数率は、労働災害の発生頻度を表す数値で、百万時間当たりで算定する。

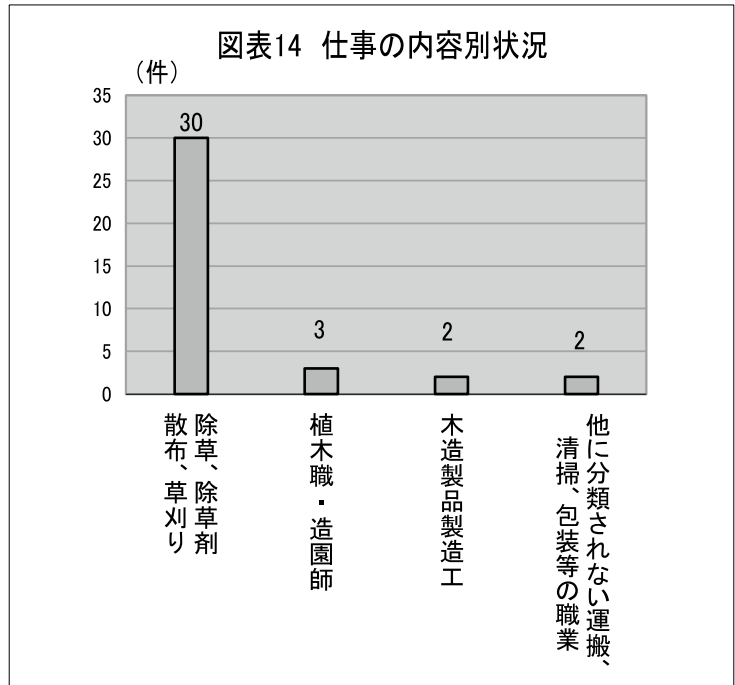
※ 強度率は、事故の重篤度合を表す数値で、千時間当たりで算定する。

4. 平成 29 年度損害賠償事故発生状況

(1) 仕事の内容

計 37 件の事故を仕事の内容でみると、除草・草刈りが 30 件（81.1%）と 8 割を超えており、次いで植木・造園工事が 3 件（8.1%）の順になっており、事故のほとんどが屋外作業である。

また、損害賠償事故に占める、除草、草刈り作業のほとんどが、機械式草刈機使用時に発生している。



(2) 事故の型

事故を型別にみると、「飛散させた物で損壊」が 26 件（70.3%）と全体の 7 割を占め、次いで「器具・用具を接触させて損壊」が 4 件（10.8%）の順になっている。

特に、「飛散させた物で損壊」の場合作業場所の周囲の状況の確認不足、防護ネットなしでの刈払機使用による事故が多く発生している。

図表 15 事故の型別状況

事故の型	実数	%
飛散させた物で損壊	26	70.3
器具・用具を接触させて損壊	4	10.8
その他の就業中の損壊	4	10.8
汚損・変質	2	5.4
落下させて損壊	1	2.7
計	37	100.0

(3) 月別状況

事故を月別にみると、「6月」が 7 件（18.9%）と最も多く、次いで「10月」が 6 件（16.2%）、「5月」「12月」が各 5 件（13.5%）の順になっている。

図表 16 月別状況

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実数	1	5	7	2	3	4	6	3	5	0	0	1	37
%	2.7	13.5	18.9	5.4	8.1	10.8	16.2	8.1	13.5	0	0	2.7	100.0

5. 平成29年度事件事例

29年度中にシルバー団体傷害保険と総合賠償責任保険の保険金が支払われた事件事例です。

事故は、事前に所要の対策を講じて未然に防がなければなりません、不幸にして事故に至った場合には、直ちに適切な応急処置をとることが大切です。

応急処置が一段落したら、なぜその事故が起きたかについての調査を行わなければなりません。

この事件事例は、事故の原因となった行動を発見するとともに、その背景となった様々な要因を探り出すためにまとめたものです。今後の事故防止に役立ててください。

(1) 傷害事件事例

就業中

仕事の分類	事故の型	怪 我		事 故 後			性別	年齢
		部 位	症 状	後遺	入院	通院		
商品訪問・移動販売員	はさまれ、巻込まれ	手首・手指	裂傷・咬傷		○		男性	74
家政婦（夫）、家事手伝	転倒	手首・手指	骨折・ひび			○	女性	77
	転倒	手首・手指	骨折・ひび			○	男性	67
高齢者向け福祉サービス	転倒	腕部	肉離れ・腱		○	○	女性	74
	蜂、犬、蛇等に刺され、嘔まれ	半身（上下左右）	皮膚の炎症（火傷・虫さされ等）			○	女性	72
調理人	はさまれ、巻込まれ	手首・手指	裂傷・咬傷			○	男性	75
その他の居住施設・ビル等の管理の職業	墜落、転落	胸部・背中	骨折・ひび	○	○	○	男性	83
農耕作業員	墜落、転落	脚部	骨折・ひび			○	男性	63
	転倒	胸部・背中	骨折・ひび		○		男性	70
植木職、造園師	墜落、転落	頭部・顔（目鼻口耳喉を除く）	骨折・ひび			○	男性	64
	墜落、転落	頭部・顔（目鼻口耳喉を除く）	打撲		○	○	男性	73
	墜落、転落	頭部・顔（目鼻口耳喉を除く）	裂傷・咬傷			○	男性	74
	墜落、転落	胸部・背中	骨折・ひび		○	○	男性	66
	墜落、転落	胸部・背中	骨折・ひび	○		○	男性	69
	墜落、転落	胸部・背中	骨折・ひび		○	○	男性	79
	墜落、転落	胸部・背中	打撲			○	男性	76
	墜落、転落	腰部・臀部	骨折・ひび			○	男性	73
	墜落、転落	腰部・臀部	骨折・ひび		○	○	男性	74
	墜落、転落	手首・手指	骨折・ひび		○	○	男性	64
	墜落、転落	脚部	骨折・ひび		○	○	男性	64
	墜落、転落	足首・足指	骨折・ひび	○			男性	75
	転倒	腰部・臀部	骨折・ひび		○	○	男性	74
	転倒	足首・足指	骨折・ひび		○	○	男性	78

仕事の分類	事故の型	怪 我		事 故 後			性別	年齢
		部 位	症 状	後遺	入院	通院		
植木職、造園師	激突	胸部・背中	骨折・ひび			○	男性	67
	切れ、こすれ	手首・手指	裂傷・咬傷		○	○	男性	74
	その他	足首・足指	骨折・ひび			○	男性	69
パン・菓子製造工	転倒	頭部・顔（目鼻口耳喉を除く）	打撲			○	女性	78
保存食品・冷凍加工食品製造工	飛来、落下	足首・足指	骨折・ひび			○	男性	64
その他の製品製造・加工処理の職業（金属材料製造、金属加工、金属溶接・溶断を除く）	はさまれ、巻込まれ	胸部・背中	骨折・ひび			○	男性	70
土木作業員	はさまれ、巻込まれ	手首・手指	裂傷・咬傷			○	男性	72
ビル・建物清掃員	転倒	腰部・臀部	打撲		○	○	男性	73
	転倒	脚部	骨折・ひび		○	○	女性	75
	転倒	脚部	打撲		○	○	女性	70
ごみ収集・し尿汲取作業員	交通事故（その他）	脚部	裂傷・咬傷			○	男性	67
産業廃棄物収集作業員	転倒	頭部・顔（目鼻口耳喉を除く）	裂傷・咬傷			○	男性	75
軽作業員	激突	手首・手指	捻挫			○	男性	67
他に分類されない運搬、清掃、包装等の職業	切れ、こすれ	手首・手指	裂傷・咬傷			○	男性	67
除草、除草剤散布、草刈り	墜落、転落	頭部・顔（目鼻口耳喉を除く）	裂傷・咬傷			○	女性	73
	墜落、転落	腰部・臀部	骨折・ひび	○		○	女性	72
	墜落、転落	腰部・臀部	骨折・ひび		○	○	男性	81
	転倒	脚部	骨折・ひび			○	女性	71
	切れ、こすれ	目・眼球	切り傷・擦り傷			○	男性	81
	切れ、こすれ	手首・手指	裂傷・咬傷			○	男性	72
	切れ、こすれ	脚部	切り傷・擦り傷			○	男性	70
	切れ、こすれ	足首・足指	切り傷・擦り傷			○	男性	80
	高温、低温の物との接触	腕部	皮膚の炎症（火傷・虫さされ等）			○	男性	80
	蜂、犬、蛇等に刺され、噛まれ	腕部	毒物中毒・感染症		○		男性	68
	蜂、犬、蛇等に刺され、噛まれ	手首・手指	皮膚の炎症（火傷・虫さされ等）			○	男性	62
	蜂、犬、蛇等に刺され、噛まれ	半身（上下左右）	皮膚の炎症（火傷・虫さされ等）			○	男性	61

途 上

仕事の分類	事故の型	怪 我		事 故 後			性別	年齢
		部 位	症 状	後遺	入院	通院		
ビル・建物清掃員	交通事故（道路）	首・頸椎	関節・筋肉の炎症（腱鞘炎含む）			○	女性	62
	交通事故（道路）	腰部・臀部	骨折・ひび	○			女性	73
	交通事故（道路）	手首・手指	打撲			○	女性	72
道路・公園清掃員	交通事故（道路）	脚部	打撲			○	女性	79
その他の清掃の職業	転倒	脚部	骨折・ひび		○	○	女性	76
	交通事故（道路）	手首・手指	切り傷・擦り傷			○	女性	77
	交通事故（道路）	脚部	打撲			○	男性	70
除草、除草剤散布、草刈り	交通事故（道路）	脚部	骨折・ひび		○	○	女性	74
	蜂、犬、蛇等に刺され、嘔まれ	手首・手指	皮膚の炎症（火傷・虫さされ等）			○	男性	65



(2) 損害賠償事故事例

仕事の分類	事故発生年月	保険金受取年月	事故の型	支払われた保険金(円)
生産現場事務員	201508	201605	器具・用具を接触させて損壊	604,800
家政婦(夫)、家事手伝	201612	201701	その他の就業中の損壊	53,000
その他の家庭生活支援サービスの職業	201606	201608	器具・用具を接触させて損壊	45,000
駐車場・駐輪場の管理人	201505	201607	落下させて損壊	91,460
農耕作業員	201610	201702	器具・用具を接触させて損壊	116,240
植木職、造園師	201609	201701	器具・用具を接触させて損壊	123,720
	201612	201702	器具・用具を接触させて損壊	5,000
	201610	201611	落下させて損壊	38,000
	201612	201701	落下させて損壊	29,160
	201605	201607	倒したり、ぶついたりして損壊	69,380
	201605	201606	汚損・変質	62,000
	201602	201609	その他の就業中の損壊	334,800
	201610	201701	その他の就業中の損壊	601,040
陸上荷役・運搬作業員	20610	201612	倒したり、ぶついたりして損壊	618,500
	201604	201604	その他の途上の損壊	64,465
ビル・建物清掃員	201610	201611	倒したり、ぶついたりして損壊	83,960
その他の清掃の職業	201602	201604	運搬・搬出中に損壊	5,122
除草、除草剤散布、草刈り	201604	201605	飛散させた物で損壊	59,271
	201605	201606	飛散させた物で損壊	97,776
	201605	201606	飛散させた物で損壊	249,766
	201605	201606	飛散させた物で損壊	142,485
	201605	201606	飛散させた物で損壊	21,060
	201607	201608	飛散させた物で損壊	32,681
	201607	201608	飛散させた物で損壊	65,934
	201607	201608	飛散させた物で損壊	25,176
	201607	201609	飛散させた物で損壊	66,550

仕事の分類	事故発生年月	保険金受取年月	事故の型	支払われた保険金(円)
除草、除草剤散布、草刈り	201608	201609	飛散させた物で損壊	75,608
	201609	201609	飛散させた物で損壊	75,000
	201609	201609	飛散させた物で損壊	40,000
	201609	201610	飛散させた物で損壊	85,320
	201609	201611	飛散させた物で損壊	41,472
	201610	201610	飛散させた物で損壊	118,493
	201610	201611	飛散させた物で損壊	268,640
	201610	201611	飛散させた物で損壊	102,320
	201610	201611	飛散させた物で損壊	140,865
	201610	201611	飛散させた物で損壊	34,256
	201610	201611	飛散させた物で損壊	613,936
	201610	201611	飛散させた物で損壊	16,200
	201610	201612	飛散させた物で損壊	89,920
	201610	201612	飛散させた物で損壊	73,440
	201611	201611	飛散させた物で損壊	146,240
	201611	201612	飛散させた物で損壊	13,220
	201612	201612	飛散させた物で損壊	98,539
	201612	201701	飛散させた物で損壊	26,654
	201702	201703	飛散させた物で損壊	47,000
	201607	201608	器具・用具を接触させて損壊	4,040
	201607	201610	器具・用具を接触させて損壊	874
	201608	201609	器具・用具を接触させて損壊	9,720
	201610	201611	器具・用具を接触させて損壊	12,960
	201610	201612	器具・用具を接触させて損壊	76,143
	201612	201702	器具・用具を接触させて損壊	60,000

6. シルバー派遣事業事故事例

29年度に発生した事故事例です。派遣事業の拡大とともに事故発生件数も増加してきています。不慮の事故もありますが、ちょっとした注意で避けられる事故もあります。日頃から仕事をするときは、急いだり、あせったり、気を抜いたりせず安全就業に心がけてください。

(1) 傷害事故事例

仕事の分類	事故発生年月日	就業中・途上別	性別	年齢	入院・通院別	事故の型	部位	症状
輸送・機械運転の職業	2017. 7. 28	就業中	男	70	通院	激突	頭部・顔(目鼻口耳喉を除く)	裂傷・咬傷
サービスの職業	2018. 1. 24	就業中	女	68	入院	墜落・転落	胸部・背中	骨折・ひび
	2018. 3. 27	就業中	女	76	通院	墜落・転落	半身(上下左右)	打撲
	2018. 3. 30	就業中	女	71	通院	転倒	脚部	打撲
運搬・清掃・包装等の職業	2017. 4. 12	就業中	女	70	通院	転倒	足首・足指	骨折・ひび
	2017. 4. 19	就業中	男	70	通院	転倒	足首・足指	打撲
	2017. 6. 28	途上	女	70	通院	転倒	腕部	骨折・ひび
	2017. 9. 1	就業中	男	69	通院	墜落・転落	脚部	打撲
	2017. 12. 24	就業中	男	69	通院	転倒	耳/鼻/咽喉/歯/口腔	切り傷・擦り傷
	2018. 1. 10	就業中	男	67	入院	転倒	頭部・顔(目鼻口耳喉を除く)	打撲
	2018. 2. 19	就業中	男	71	通院	崩壊・倒壊	頭部・顔(目鼻口耳喉を除く)	切り傷・擦り傷
	2018. 3. 2	就業中	男	75	通院	動作の反動/無理な動作	腕部	肉離れ・腱断裂

(2) 損害賠償事故事例

29年度は、損害賠償事故が発生していません。

7. センター別シルバー保険契約状況（平成 29 年度）

センター名	団体傷害保険金額			総合賠償責任保険金額			掛金負担 方 法	契約保険会社
	死亡後 遺障害 (万円)	入 院 1日当 (円)	通 院 1日当 (円)	身体1名 につき (万円)	身体1事 故につき (万円)	財物1事 故につき (万円)		
高 松 市	1,000	3,000	2,000	10,000	10,000	10,000	全額センター	三井住友海上火災
丸 亀 市	500	3,000	2,000	10,000	10,000	10,000	全額センター	損害保険ジャパン日本興亜
坂 出 市	900	3,000	2,000	10,000	10,000	1,000	全額センター	三井住友海上火災
仲 善 広 域	900	3,000	2,000	10,000	10,000	10,000	全額センター	三井住友海上火災
観 音 寺 市	1,000	3,000	2,000	3,000	10,000	1,000	全額センター	あいおいニッセイ同和
さ ぬ き 市	1,000	4,000	2,500	3,000	10,000	1,000	全額センター	東京海上日動火災
東 か が わ 市	1,000	3,000	2,000	10,000	10,000	10,000	全額センター	三井住友海上火災
三 豊 市	1,000	3,000	2,000	3,000	10,000	1,000	全額センター	あいおいニッセイ同和
三 木 町	1,000	5,000	3,000	10,000	30,000	3,000	全額センター	東京海上日動火災
宇 多 津 町	1,000	3,000	2,000	50,000	50,000	50,000	全額センター	三井住友海上火災
綾 川 町	900	3,000	2,000	3,000	10,000	1,000	全額センター	東京海上日動火災
多 度 津 町	1,000	3,000	2,000	3,000	10,000	1,000	全 額 センター	損害保険ジャパン日本興亜 三井住友海上火災(賠償のみ)
土 庄 町	800	5,000	2,000	3,000	10,000	1,000	一部会員	損害保険ジャパン日本興亜
小 豆 島 町	1,000	3,000	2,000	3,000	10,000	1,000	一部会員	損害保険ジャパン日本興亜
直 島 町	600	5,000	3,000	10,000	10,000	10,000	全額センター	損害保険ジャパン日本興亜 三井住友海上火災(賠償のみ)

8. 「シルバー安全の日」 実施要綱

1. 目的

高齢化が進展するなか、シルバー人材センターは「自主・自立、共働・共助」という基本理念の下、高齢者の方々を会員として就業の場を提供することにより、高齢者に「働きがい」「生きがい」を与え、活力ある高齢社会の実現に重要な役割をはたしています。

一方、事業規模の拡大に伴い、会員の就業中及び就業途上の、傷・災害事故は多発しております。

このため、会員が安全、安心に就業できる環境を整備するとともに、会員一人一人が、安全就業について、自覚と責任をもち、安全就業に努めることが肝要であります。

つきましては、安全・適正就業についてより着実な成果を期するため、「シルバー安全の日」を定めて、事故^{ゼロ}を目指すものです。

2. 「シルバー安全の日」

毎月10日を「シルバー安全の日」とする。

3. 取り組む事項

- (1) 交通安全活動の実施
- (2) 巡回パトロールによる安全・適正就業の徹底
- (3) 作業前の健康確認及び安全チェックの徹底
- (4) 保安帽・安全帯・保護具の着用の徹底
- (5) 交通安全及び職群・新人・リーダー安全就業講習会の開催
- (6) 事務所や就業現場等における交通安全・安全就業懸垂幕、幟旗等の掲示
- (7) その他安全意識向上のための啓発活動



9. 安全就業表彰規程 平成 20 年 3 月 14 日制定

(趣旨)

第 1 条 この規程は、安全就業について特に寄与したシルバー人材センターの表彰に関し必要な事項を定めるものとする。

(表彰)

第 2 条 表彰は、次に掲げるセンターについて公益社団法人香川県シルバー人材センター連合会が行う。

- (1) 安全委員会等を設置し、常時会員に安全就業を周知するなど安全就業への取組みが優れていること。
- (2) 過去 3 年以内に安全就業優良センターとして表彰を受けていないこと。
- (3) 入会率が著しく低くないこと。(全シ協表彰基準に準ずる)
- (4) 就業率が高いと認められること。(全シ協表彰基準に準ずる)
- (5) 過去 3 年間に死亡事故等の重篤事故の発生がないこと。
- (6) 過去 3 年間に長期入院及び長期通院を要する事故が極めて少ないこと。

2 当該年度における被表彰センターは、2 センター以内とする。

3 表彰は、表彰状に副賞を添えて授与する。

(連合会長の表彰)

第 3 条 この規程に基づき、表彰することが適当と認められるセンターを、安全・適正就業委員会で検討し、理事会に諮り決定する。

(表彰の方法)

第 4 条 表彰は、毎年度、定時総会（安全就業推進大会が開催される年度は当該大会）において行う。

(その他)

第 5 条 この規程に定めるもののほか、表彰について必要な事項は理事会に諮り決定する。

附 則

1 この規程は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

1 この規程は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第 106 条第 1 項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成 27 年 5 月 22 日から施行する。

10. 安全就業の心得

みんなで守ろう

10

カ条

1. **健康管理**に留意し、常に健康な状態で就業しましょう
2. 仕事の前日は**十分に睡眠**をとりましょう
3. 服装・履物・保護具は**仕事に適した**ものを着用しましょう
4. 仕事を始める前には**準備運動**をしましょう
5. 保護具や器具類は使用する前に**必ず点検**しましょう
6. 加齢による**身体の機能低下**を十分認識し、
無理をしないようにしましょう
7. 仕事をするときは急いだり、あわてたりせず、**安全第一**を心がけましょう
8. 就業の場は常に**整理整頓**を心がけましょう
9. 共同で仕事をするときは**合図・連絡を正確**に行いましょう
10. 行き帰りも仕事のうち、**交通事故に遭わない**ようにしましょう



11. 平成 29 年度安全就業の取組み

29 年度、連合会では県内全域で安全・適正就業を効果的かつ着実に実施するため、安全・適正就業委員会を中心に次のような活動を行いました。

① 安全・適正就業委員会(4回)、推進会議(2回)の開催

会員の安全の確保と適正就業の徹底を図るため、安全・適正就業についての基本方針や実効のある具体的な防止対策等について協議、検討を行いました。また、高齢者の自動車運転による交通事故が多発し社会問題になっていることから、自動車運転業務に係る実態調査や安全対策についても協議、検討を行いました。

② 安全・適正就業委員パトロール

7月の安全・適正就業強化月間に合わせ、安全・適正就業委員による安全パトロールを3班集体(委員2人で1班)で実施して、県内6つのセンターの安全・適正就業の履行状況や健康管理への取組み状況と会員就業現場における安全就業状況の確認や指導・助言を行いました。



現場：急な斜面
(指導内容；足元に注意)



現場：工場内車両置き場
(指導内容：小石等飛散防止に注意)

③ 「シルバー安全の日」の実施と「無事故達成記録ボード」の活用

毎月10日を「シルバー安全の日」に定め、①交通安全教室、②安全パトロール、③作業前の健康確認・安全チェック、④安全帽・安全带・保護具の着用運動を展開するとともに、各センターにおいて「無事故達成記録ボード」を設置するなどし、会員一人ひとりに安全に対する不断の意識づけを図りました。

④ 交通安全教室(平成 29 年 8 月 23 日)

就業途上時などに多発している自転車事故抑止のために、一般財団法人香川県交通安全協会「交通安全教育推進隊」に講師を依頼して、改正道交法を含む高齢者向けの交通安全講話と自転車シミュレーターの使用を組み合わせた体験型の「交通安全教室」を実施しました。



自転車事故再現ビデオによる研修



自転車シミュレーター試乗体験



⑤ 安全就業推進強化キャンペーンの実施

事故撲滅を推進するため、特に、事故が多い除草作業と剪定作業について、期間を定めてキャンペーンを行い、期間中に事故のなかったセンターを表彰しました。

- 1) 除草作業事故防止キャンペーン 6月1日～8月31日

表彰センター：高松市 SC、仲善広域 SC、宇多津町 SC、綾川町 SC、多度津町 SC、小豆島町 SC、直島町 SC

- 2) 剪定作業事故防止キャンペーン 9月1日～11月30日

表彰センター：仲善広域 SC、観音寺市 SC、さぬき市 SC、東かがわ市 SC、三豊市 SC、宇多津町 SC、綾川町 SC、多度津町 SC、土庄町 SC、小豆島町 SC、直島町 SC

- 3) 交通安全活動期間中の事故防止キャンペーン 6月1日～9月30日

⑥ 安全就業リーフレットの作成

各センターと共同で安全・適正就業啓発リーフレットを作成し、新入会員を中心に配布しました。

⑦ 安全就業に関するビデオ・DVDの貸出し

会員の安全意識の高揚を図るため、安全就業に関する映像ソフトの充実を図り、貸出しを行いました。

12. 安全に関するビデオ・DVD

会員が就業中・途上の災害事故から自分を守るために必要な知識・技能を身に付けるための教材「安全に関するビデオ・DVD一覧(平成30年8月 現在所蔵)」です。

講習・研修等あらゆる機会を活用してください。

【安全(就業)】

整理 No.	題 名	企画制作会社	所要時間	本数
1	健康でイキイキ 愛媛のシルバー 自分の命は自分で守る	(社)愛媛県シルバー 人材センター連合会	21分	1
2	除草作業の事故をなくそう	(社)愛媛県シルバー 人材センター連合会	29分	1
3	転倒災害はこうして防ぐ ～転ばぬ先の安全の知恵～	安全衛生映像研究所	17分	1
4	助かった！ ヘルメット・安全帯の底力!!	(社)日本保安用品協会	23分	1
5	脚立・梯子 墜落転落防止DVD 魔の一瞬 怪我をするのはあなた!《脚立・梯子編》	大阪低層住宅安全衛生協議会	25分	1
6	ハガにゃん教授の自分でできる ヒューマンエラー対策 PART3 安全の人間学 実践編 第1巻 勘違い～メカニズムと防止策～	株式会社ワイ・イーピー	25分	1
7	ハガにゃん教授の自分でできる ヒューマンエラー対策 PART3 安全の人間学 実践編 第2巻 物忘れ～メカニズムと防止策～	株式会社ワイ・イーピー	25分	1
8	建設安全ビデオシリーズ 夏の建設現場が危ない 熱中症の恐怖 -予防対策のポイント-	建設安全研究会	2枚組 作業員編17分 指導員編24分	1
28	危険の芽を摘もう！ 造園工事 災害事故例から学ぶ安全作業 〈作業員編〉	建設業労働災害防止協会	16分	1

【安全(交通)】

整理 No.	題 名	企画制作会社	所要時間	本数
9	いつまでも笑顔のまま 高齢者のための交通安全	警視庁	19分	1
29	人生の達人！ 高齢者いきいき安全運転	新生映画株式会社	25分	1

【教 材】

整理 No.	題 名	企画制作会社	所要時間	本数
12	庭木の健康管理 病虫害の上手な防除法	日本園芸協会	30分	1
13	庭木の手入れ マツ編 プロの手ほどきで、 庭木の手入れをマスター	日本園芸協会	23分	1
14	庭木の手入れ② 人気花木の整姿・剪定	日本園芸協会	38分	1
15	庭木の手入れ③ ウメの整姿・剪定	日本園芸協会	30分	1
16	庭木の手入れ④ 生垣と四ツ目垣	日本園芸協会	30分	1
17	シルバー人材センター技能職教材 塗装の仕方	(社)全国シルバー人材 センター事業協会	41分	1
30	刈払機の安全作業	林業・木材製造業 労働災害防止協会	21分	1
31	振動障害を予防するために ～チェーンソーの使い方～ ～刈払機の使い方～	林業・木材製造業 労働災害防止協会	22分 15分 25分(共通)	1
32	チェーンソーの安全な操作	林業・木材製造業 労働災害防止協会	21分	1

